

令和5年度 東大阪市 LINE アンケート

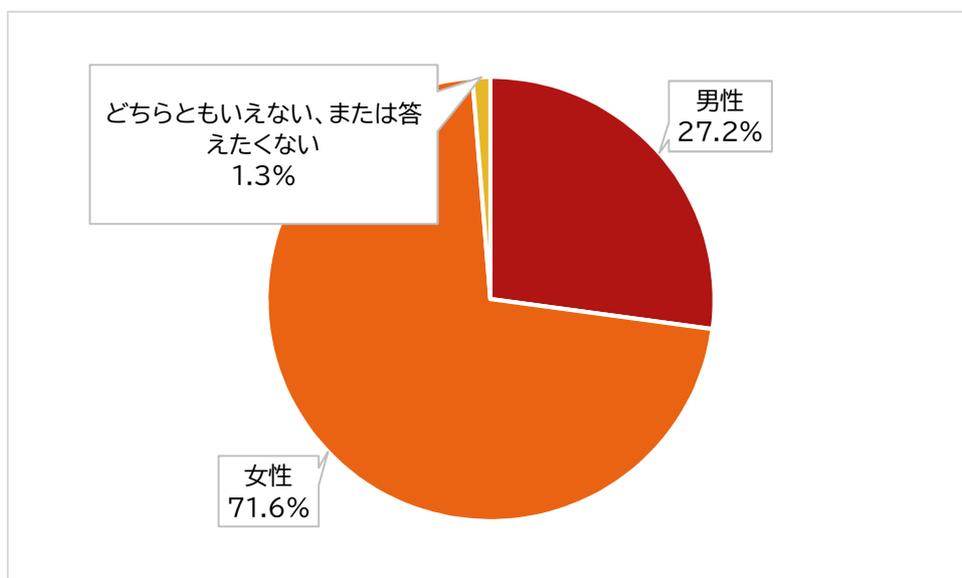
令和5年9月19日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「あなたの学びについて教えてください！に関するアンケート」を実施しました。

目的

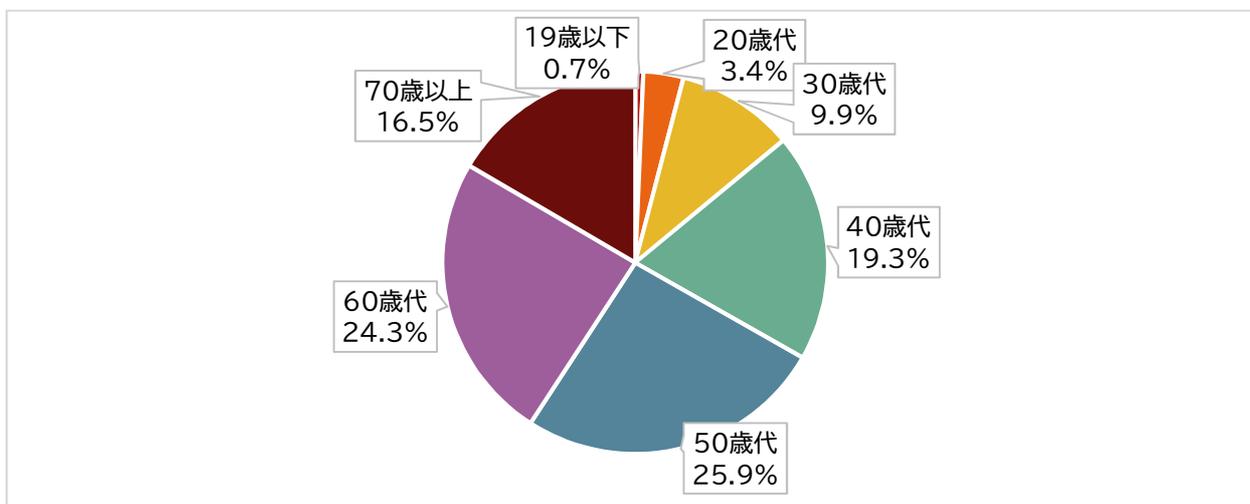
第四次東大阪市生涯学習推進計画の進捗状況の把握。

対象者	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だち	1,635 人

問 1. あなたの性別を教えてください。

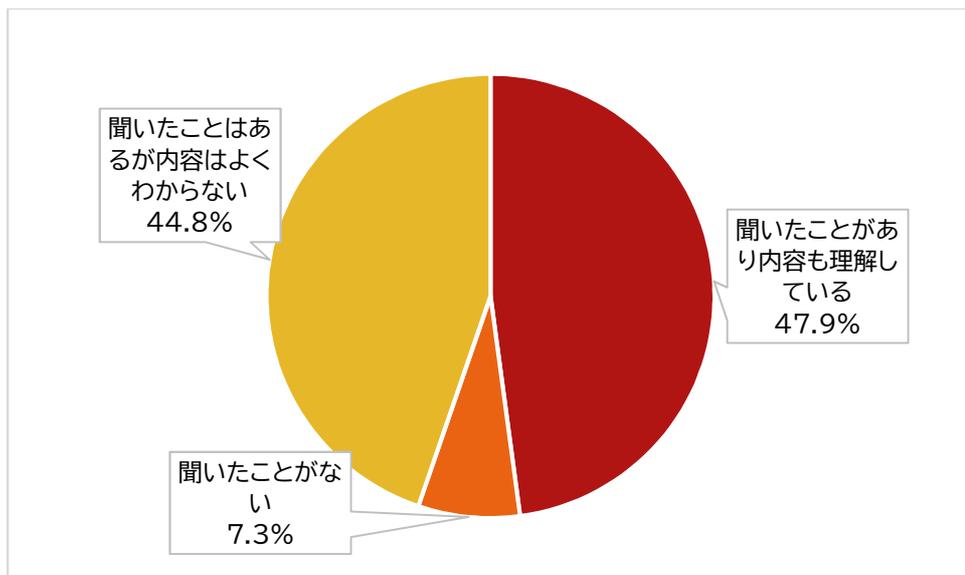


問 2 あなたの年齢を教えてください。



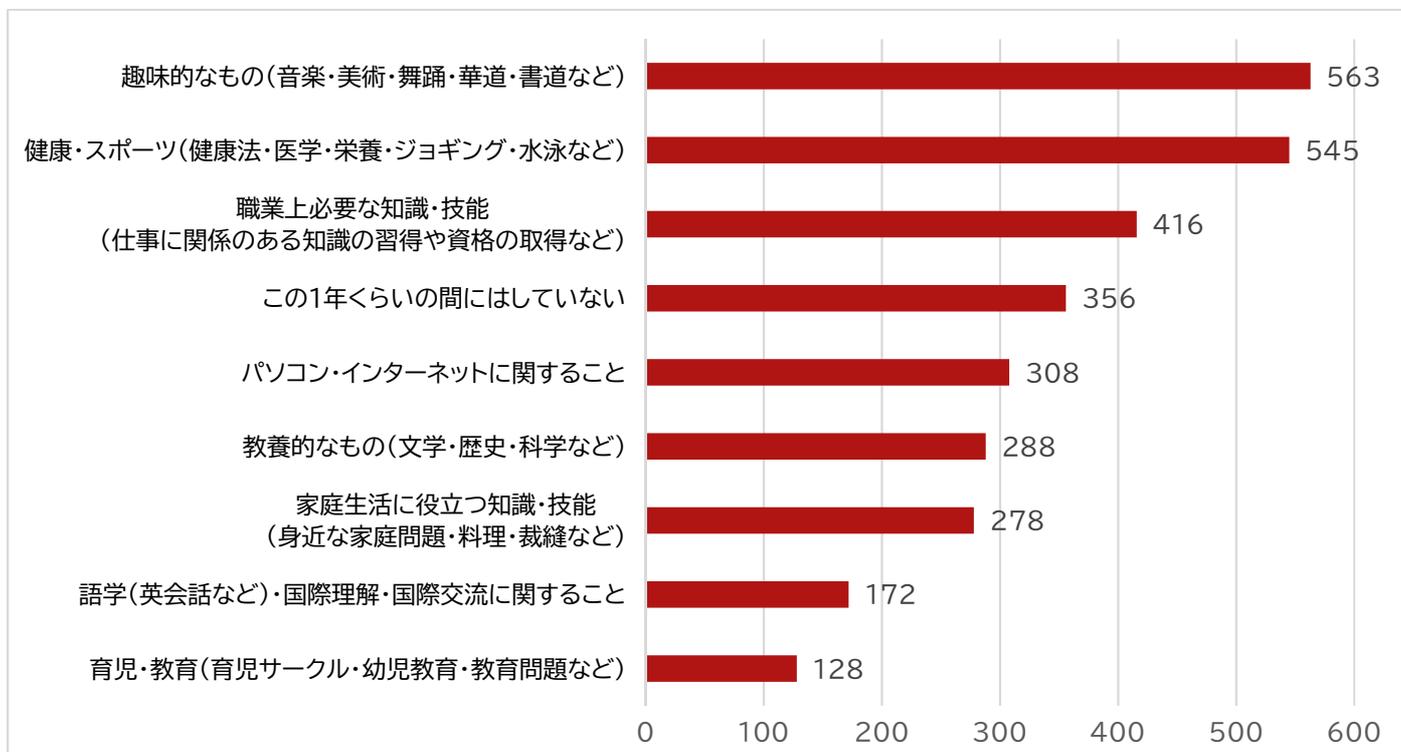
40歳代以上の方、また女性の方に多くご回答いただきました。

問3 「生涯学習」とは、自分自身の人生を豊かにするために、生涯を通して自主的・自発的に行うあらゆる領域の学びを表しますが、あなたはこの「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。



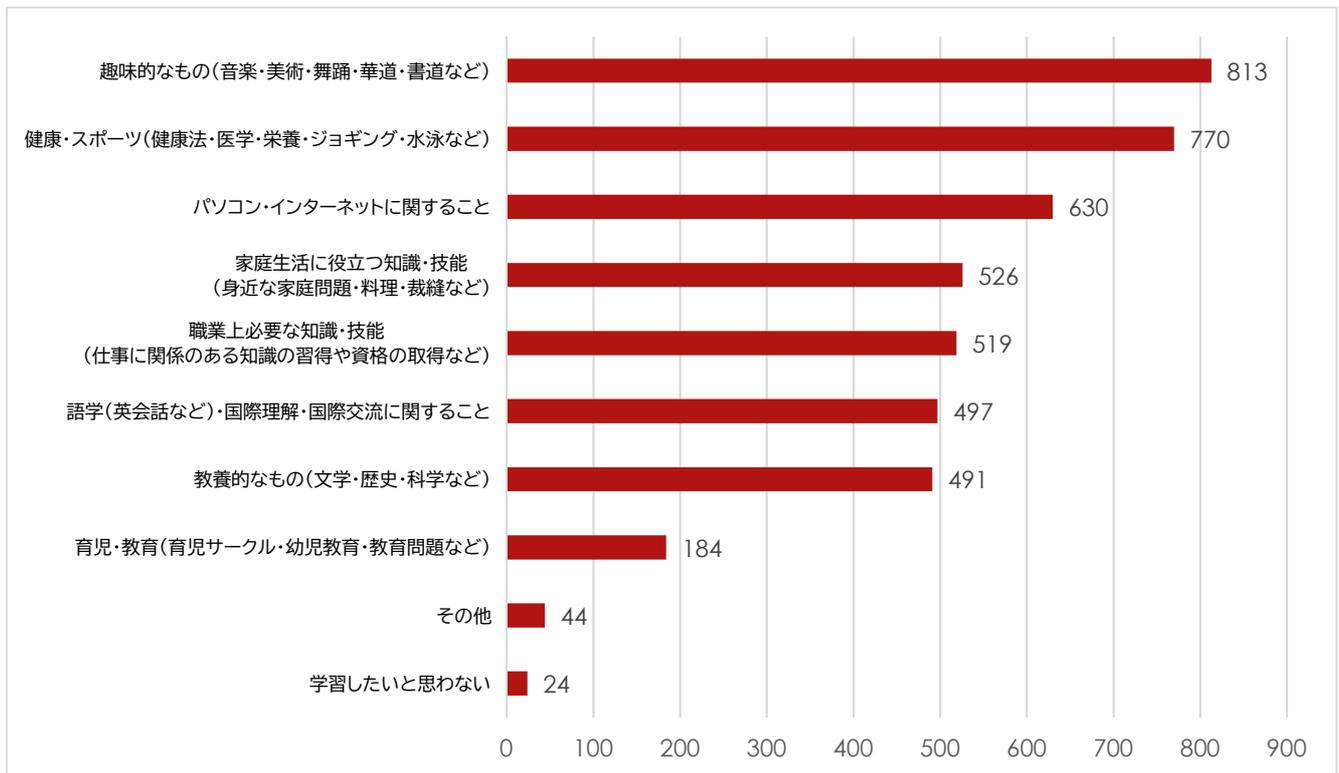
「聞いたことがあり内容も理解している」方と、「聞いたことがない」「聞いたことはあるが内容はよくわからない」を合わせた『内容を理解されていない』方でそれぞれ約5割ということが今回わかりました。市民の皆様には「生涯学習」という言葉が浸透しているとは言えず、一層周知の必要性を感じます。

問4 あなたはこの1年くらいの間に、どのような内容の学習活動や体験活動をしましたか。(複数回答可)



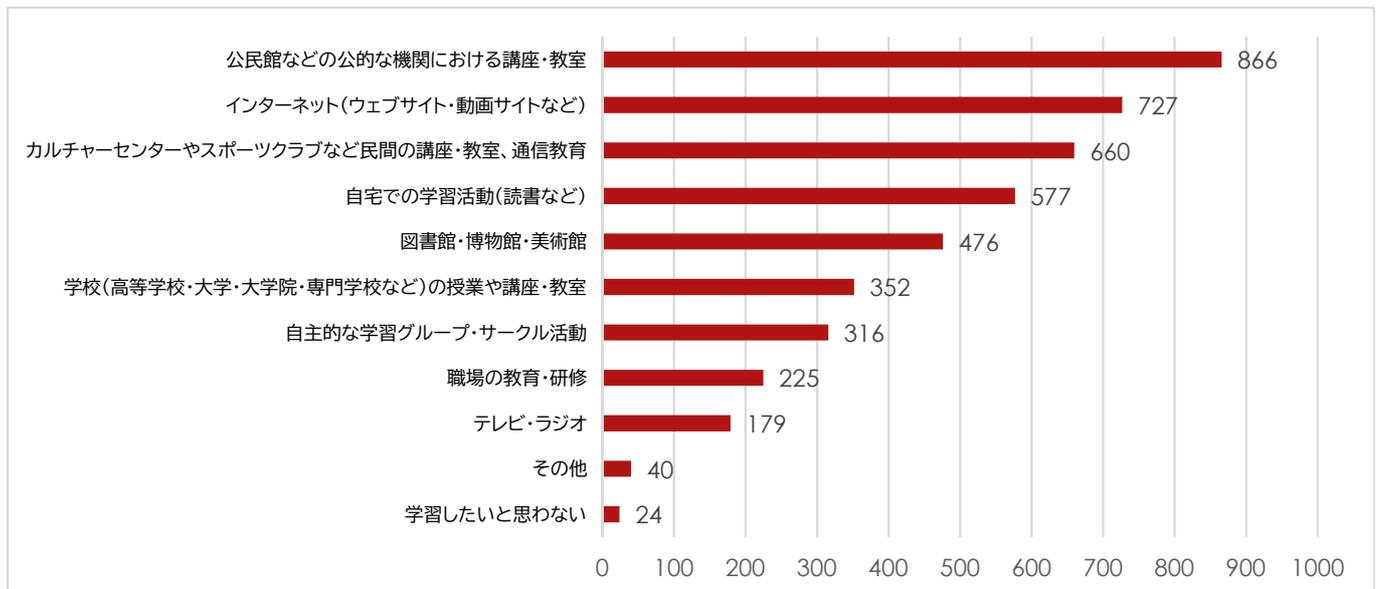
多くの方が趣味・健康・スポーツといった活動をされていることがわかりますが、一方でこの1年くらいの間に活動をされていない方が一定数いらっしゃることもわかりました。

問 5 あなたがこれから学習するとすれば、どのようなことを学習したいですか。(複数回答可)



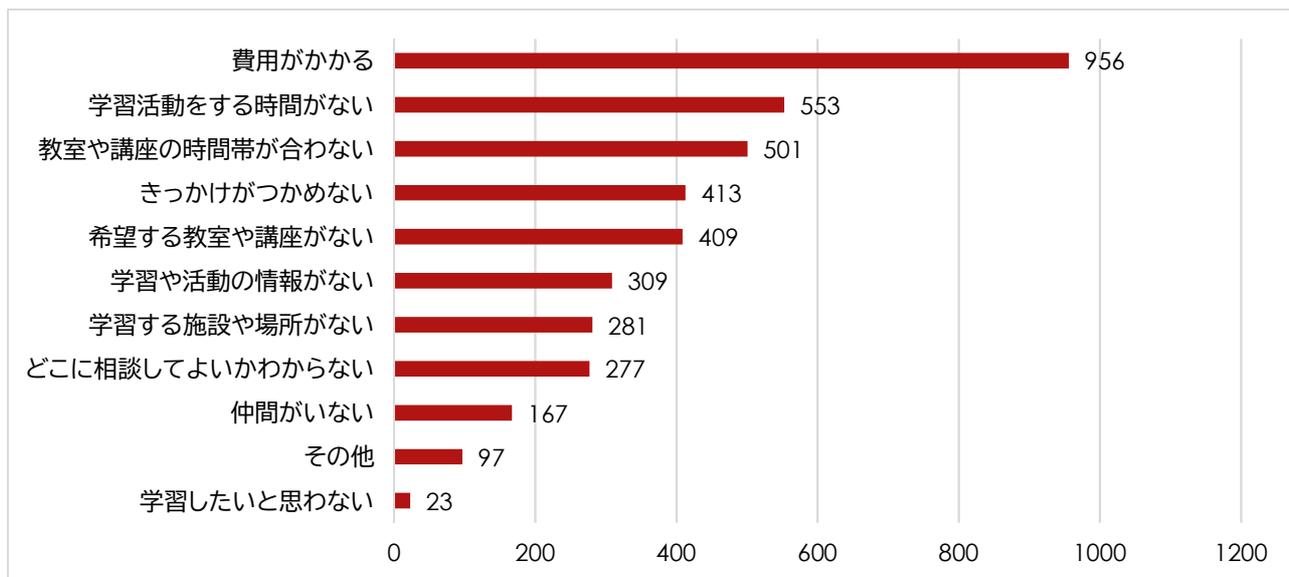
学習したいと思わない方は非常に少数で、多くの方が様々な分野で学習することを望んでいることがわかりました。

問 6 あなたは今後、どのような方法で学習をしてみたいと思いますか。(複数回答可)



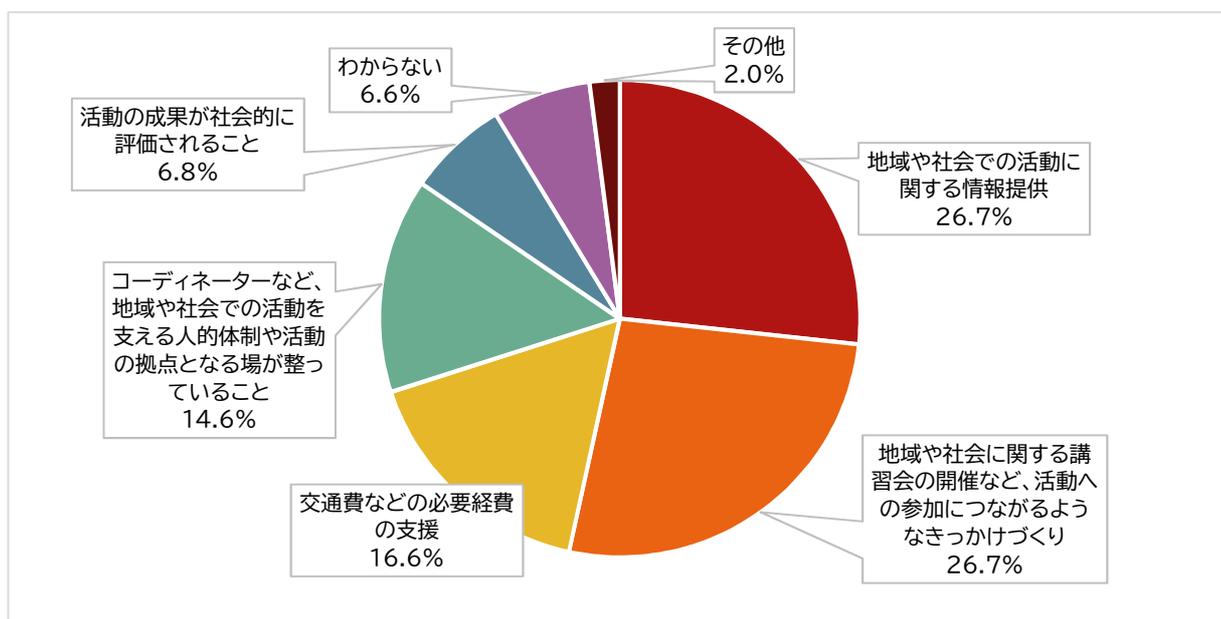
公的な機関における講座・教室で学習をされたいと思っている方が最も多く、市から市民に向けたわかりやすい情報提供の必要性が改めて浮き彫りになりました。

問7 あなたが学習をする時に困ることや、学習活動をしていない理由は何ですか。(複数回答可)



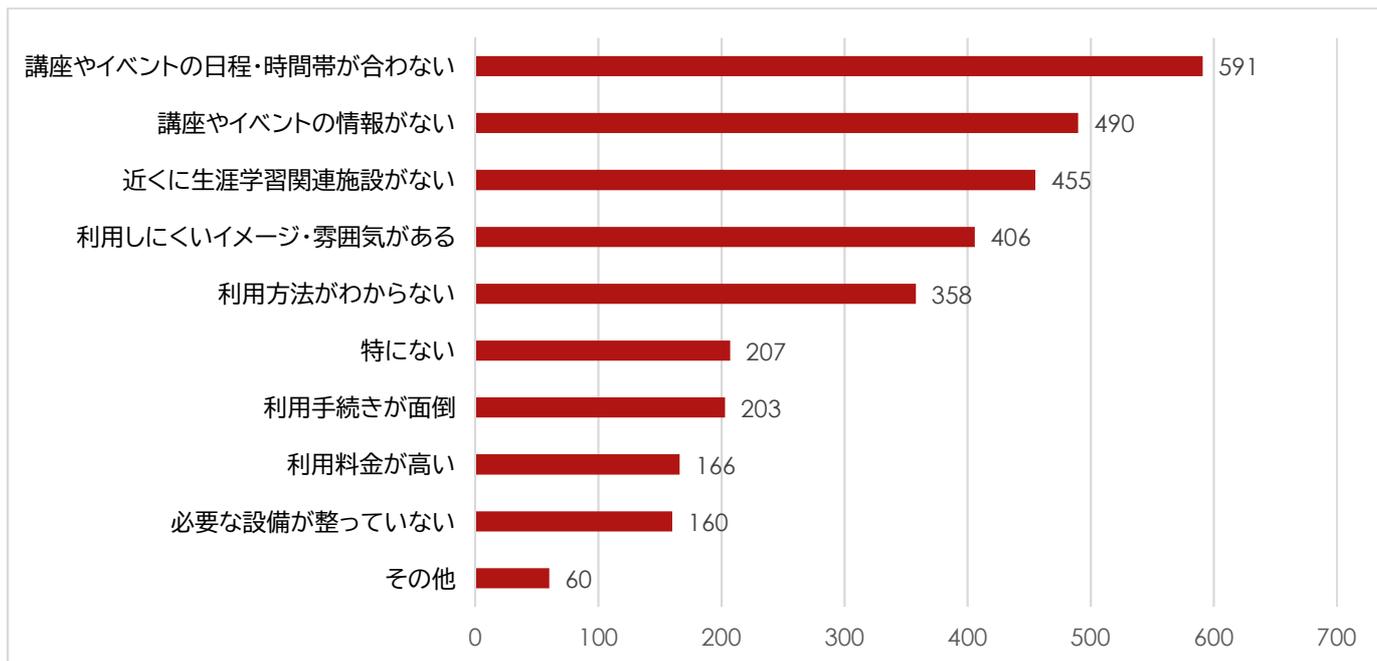
時間の問題や希望する講座がない、きっかけがつかめない等の理由が上位となりましたが、特筆すべきは費用がかかると回答された方が非常に多い点です。費用がかからない公的機関による講座の実施が強く求められていることがわかりました。

問8 多くの人々が地域や社会での活動(ボランティアを含む)に参加するようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。



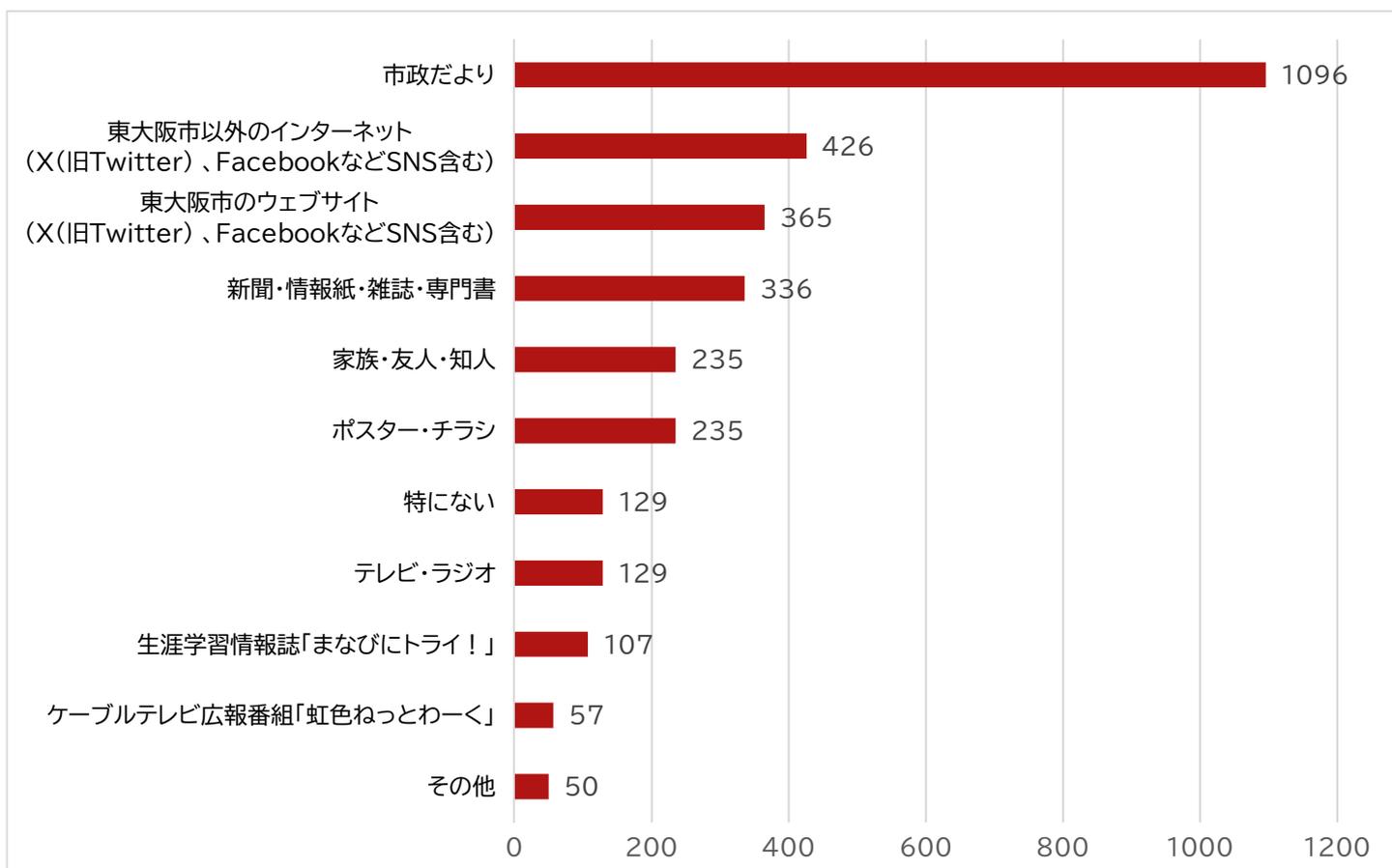
ボランティアについて参加頂くために、特に地域や社会に関する情報提供、また参加につながるきっかけづくりが必要であることがわかりました。

問9 生涯学習関連施設(公民館、図書館等)を利用しない、または利用しにくい理由としてあてはまるものを教えてください。(複数回答可)



上位5つの理由が大きく影響していることがわかりました。特に時間帯について、現在、市で実施する講座の多くが平日の日中に実施しており、平日の日中以外の日程(休日や夜間)を求められているのではないかとわかりました。

問10 あなたは、学習に関する情報をどのように得ていますか。(複数回答可)



非常に多くの方が市政だよりで情報を得られていることがわかりましたので、市政だよりにおける情報提供をより推進して参ります。

問 11 ご意見ご要望や、選択肢になかった回答があればこちらにご記入ください。

(多数見られた意見を抜粋しています 回答数:199)

- ・何をしているかわからないし、高齢の方が多くイメージがある。民間サービスの方が透明性があり、わかりやすいと感じる。(講座のイメージを沸かせるような広報を)
 - ・各種障害者(聴覚・視覚・身体等)への配慮が少ないと思う。
 - ・多目的室(自習目的で使用できる部屋)が少ないと思うので、市の関連施設の一部を開放してほしい。
 - ・仕事や介護で時間が取れない人でも参加できるような講座、またサポートが欲しい。
- (平日夜間、休日の講座の実施や、開催の回数、人数制限を増やす)
- ・開催される地域が決まっており、離れた場所に住む人にとっては参加しづらいことが多い。
 - ・公民館などの各生涯学習施設におけるサークル募集を一元化してほしい。
 - ・LINE で講座開催の周知を行ってほしい。
 - ・単発でも構わないので、より細分化された個性ある講座を実施してほしい。
 - ・講座を受講するかの判断材料が少ないので、過去の受講者の口コミ(レビュー)が欲しい。